

棚田に吹く風

2022
夏
Summer
季刊

- 2 特集
つなぐ棚田遺産
～令和の百選が誕生
- 8 棚田・里山からのたより
棚田と板倉 ～この風景を次の世代に～
岐阜県飛騨市宮川町種蔵
- 10 フォトエッセイ
日本の原風景
- 11 コラム
生きもの屋の里山考
棚田の逸品
- 12 読者のひろば
- 14 棚田俳壇
代表就任にあたって
- 15 Project Report



つなぐ

棚田遺産

令和の百選が誕生

1999年の「日本の棚田百選」の選定から実に23年の歳月を経て、今年ついに新百選が発表されました。棚田保全史においてこの新百選にどんな意義があるのか？前百選との違いはあるのか？選定省である農林水産省の堂元さん、そして選定委員でもある中島名誉代表の解説で探ります。すべての選定地も一覽で掲載した大特集です。



つなぐ棚田遺産 募集ポスター

『つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ』の取り組みについて

農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課
中山間地域・日本型直接支払室 堂元 咲子

はじめに

日本の棚田の多くは、長い歴史を有し、国民への食料供給にとどまらず、国土の保全、良好な景観の形成、伝統文化の継承等に大きな役割を果たしてきました。こうした多面的な機能を有する棚田について、その保全活動を推進すること等を目的として、農林水産省は平成11年に、優れた棚田134地区を「日本の棚田百選」として認定しました。しかしながら、棚田地域の現状は厳しく、担い手の減少や農家の高齢化等により従来のような保全活動が難しくなり、棚田は荒廃の危機に直面しています。

このような現状を捉え、令和元年には待望の棚田地域振興法が施行され、その趣旨に基づき、着実に、棚田地域の振興に向けた取り組みが広がっています。

そこで、農林水産省では、棚田地域の振興に関する取り組みを積極的に評価し、国民の皆さまに、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層のご理解とご協力をいただくことを目的として、改めて優良な棚田を認定するポスト棚田百選の取り組みとして、「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」を実施しました。

ポスト棚田百選の名称について

本取り組みを広く周知するために、以下の3つの条件を満たす名称を公募しました。

- ① 維持・保全等の努力の上に成り立つ優れた棚田を評価する趣旨を表す名称
- ② 選定されたことで、棚田を維持・管理する人が勇気づけられる名称
- ③ 棚田を身近に感じられる親しみやすい名称

農林水産省のホームページに応募フォームを設け、1か月間募集を行ったところ、全国から473件もの応募がありました。

応募された名称は、「つなぐ」などの文言を含む将来への継承や希望をイメージさせるものや、「日本」という文言を含む日本人の心や日本の原風景、日本の自然などをイメージさせるもの、「ふるさと」や「故郷」などの文言を含む懐かしさを感じさせるもの、「遺産」などの文言を含む時代や歴史の移り変わりを感じさせるものが多数を占めていました。



つなぐ棚田遺産 ロゴマーク



つなぐ棚田遺産選定

つなぐ棚田遺産選定

全国から推薦いただいた
271の棚田が
「つなぐ棚田遺産
～ふるさとの誇りを未来へ～」
に選定されました。

人と自然がつくりだす
この美しい棚田を未来へ
つないでいきましょう。

つなぐ棚田遺産の募集をしたところ、全国から多数の推薦がありました。令和4年2月14日に開催された外部有識者からなる選定委員会において、これらを選定基準に基づき審査したところ、271棚田がつなぐ棚田遺産として選定されました。

また、つなぐ棚田遺産の取り組み周知を図るために、「つなぐ棚田遺産ロゴマーク」を作成しました。ロゴマークは、山間部に位置する「棚田」を「山」と「稲穂」をイメージしたイラストで表現するとともに、日本を象徴する「日の丸」と掛け合わせたデザインとしています。つなぐ棚田遺産に認定された地域の皆様に、幅広く活用いただくために、農林水産省に掲載しています。

なお、選定された棚田は、令和4年3月25日につなぐ棚田遺産認定式（WEB）を開催し農林水産大臣名での認定証を授与しました。

- ② 次の項目のいずれかに関する取り組みが優れた棚田であること
- ・ 農産物の供給の促進
 - ・ 国土の保全、水源の涵養
 - ・ 自然環境の保全
 - ・ 良好な景観の形成
 - ・ 伝統文化の継承
 - ・ 棚田を核とした地域の振興
- ① 次の要件を満たす棚田であること
- ・ 積極的な維持・保全の取り組みがなされ、今後もその取り組みが継続される見込みがあること
 - ・ 原則として、勾配が20分の1以上の一回の棚田が1ha以上あること
 - ・ 棚田を含む地域の振興に係る取り組みに多様な主体・多世代が参加していること



つなぐ棚田遺産認定証授与式で祝辞を述べる金子大臣

外部有識者からなる委員会で議論したところ、取り組みの名称としてふさわしいものとして「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」(以下「つなぐ棚田遺産」)に決定されました。「つなぐ」という文言には、「未来へ引き継ぐ」という意味や「人と人とを繋げる」という意味が込められています。

選定・認定について

つなぐ棚田遺産の選定基準は、外部有識者からなる選定委員会において、日本の棚田百選の選定基準を踏まえつつ、令和元年に施行された棚田地域振興法の基本理念の視点を加え次のとおり設定されました。

つなぐ棚田遺産 選定棚田一覽

北海道	岩見沢市	栗沢棚田 岩見沢棚田
青森県	上川郡東川町 黒石市 遠野市 一関市	東川棚田 大川原棚田 旧宮守村棚田 山吹棚田※ 金山棚田
宮城県	登米市 伊具郡丸森町 山本郡藤里町	津山町沢田地区の棚田 大張沢尻棚田※ 横倉棚田 蔵王上野の棚田
秋田県	山形市 村山市 尾花沢市	中沢棚田 高橋の棚田 明光寺の棚田 大蔵の棚田※ 榎平の棚田※ 四ヶ村の棚田※ 白鷹北部地区棚田群 藤井の棚田 上堰棚田
福島県	二本松市	東和の布沢棚田 西谷棚田 入郷石畑の棚田※ 小砂の棚田 石墨棚田 寺坂棚田
栃木県	芳賀郡茂木町 那須郡那珂川町 沼田市	川代柿ノ木代棚田 名古木の棚田群 巻木の棚田 平林の棚田 比礼力カシアート棚田 北五百川の棚田※ 花坂の棚田※ 梨ノ木田の棚田※ 上輪新田の棚田 飯寺の棚田 蒲生の棚田
群馬県	秩父郡横瀬町	大山千枚田※
埼玉県	鴨川市	
千葉県		
神奈川県	秦野市 南巨摩郡富士川町	
山梨県		
新潟県	長岡市 三条市 柏崎市	
	十日町市	

新潟県	十日町市	池谷・入山の棚田 枯木又の棚田 慶地の棚田 松代の棚田 布川の棚田群 留守原の棚田 三桶の棚田 蓬平の棚田 筒方地区の棚田群 名水「大出口泉水」 流れる棚田群
	上越市	柳池の棚田群 正善寺の棚田 角間の棚田 おぐるの棚田群 川谷もより棚田群 岩首昇竜棚田 歌見の棚田 小倉千枚田 片野尾棚田 北片辺棚田 達者棚田 月布施棚田 欽江の棚田 結束の石垣田 河西の棚田 三乗の棚田※ 胡桃棚田群 長坂棚田群※ 相倉棚田 白米千枚田※ 神子原地区棚田群 河原山の棚田群 中原棚田 大笹波水田※ 黒川棚田 当目千石棚田 かんにゃ 菅浜棚田 根越下沖の棚田※ 大西の棚田※ 田沢沖の棚田※ 栃倉の棚田※ 稲倉の棚田※ よこね田んぼ※ 山室の棚田
	佐渡市	
富山県	胎内市 中魚沼郡津南町 富山市	
石川県	輪島市 羽咋市 白山市	
福井県	小浜市 三方郡美浜町 長野市	
長野県	飯田市 上田市 伊那市	

長野県	伊那市 飯山市 千曲市	中尾の棚田 福島棚田※ 飯捨の棚田※ 娘捨の棚田 市野川棚田 青鬼の棚田※ 小谷村棚田群 野沢沖の棚田 滝町棚田 はちたか地域棚田 恵那市中野方町の棚田群※ 種蔵棚田 正ヶ洞棚田※ 六ノ里棚田(畑ヶ谷・三ヶ村) 奥住小保木棚田 三ツ石棚田 上代田棚田※ 久留女木の棚田※ 白檀の棚田 大栗安の棚田※ 北山の棚田※ 平成棚田 荒原の棚田※ 茅野の棚田 千榎棚田 石部棚田 四万町棚田 千谷の千枚田※ 深野だんだん田※ 丸山千枚田※ 西山の棚田 上仰木棚田 仰木平尾の棚田 走井棚田 山女原の棚田 今郷棚田 鶏川の棚田 畑の棚田※ 毛原 越畑・楡原の棚田 石原の棚田 上世屋・松尾の棚田 袖志の棚田※ 惣代の棚田 長谷の棚田※ 平石の棚田 持尾の棚田
岐阜県	高山市 中津川市 恵那市 飛騨市 郡上市	
静岡県	浜松市 下呂市 加茂郡八百津町	
愛知県	新城市 岡崎市	
三重県	松阪市 熊野市 伊賀市 大津市	
滋賀県	栗東市 甲賀市 高島市	
京都府	京都市 福知山市 宮津市 京丹後市 河内長野市 豊能郡能勢町 南河内郡河南町	
大阪府		

※印は日本の棚田百選にも選ばれている地区

大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
南河内郡千早赤阪村 養父市	宮垣の棚田 能座の棚田 別宮の棚田 山田の棚田 飯見の棚田 岩座の棚田 うへ山の棚田 葛城山麓地域の棚田 稲淵棚田 芋谷の棚田 中田の棚田 久野原の棚田 杉野原の棚田 上湯・あらぎ島 沼の棚田・段々畑 沼谷「天空の棚田」 色川の棚田群 京ヶ原棚田 横尾棚田 つくみ棚田 室谷の棚田 都川棚田群 中垣内 佐津目子ご美の里 西田ヨズクの里 山王寺本郷 追谷 大原新田 いわけ 上田・平佐棚田 大井谷の棚田 社棚田 美作市上山の千枚田 田土の棚田 上萩棚田 北庄棚田 大井和西の棚田 小山の棚田 比和三河内の棚田 寺領・月の子の棚田 津浪の棚田 井仁の棚田 高野の棚田 吉敷畑地区の棚田 東後畑の棚田	多可郡多可町 美方郡香美町 葛城市 高市郡明日香村 橋本市 海草郡紀美野町 有田郡有田川町	東牟婁郡那智勝浦町 鳥取市 岩美郡岩美町 八頭郡若桜町 浜田市 益田市 大田市	邑智郡邑南町 鹿足郡吉賀町 真庭市 美作市 和気郡和気町 久米郡久米南町 久米郡美咲町 庄原市 山県郡安芸太田町	下関市 山口市 長門市	下赤阪の棚田 宮垣の棚田 能座の棚田 別宮の棚田 山田の棚田 飯見の棚田 岩座の棚田 うへ山の棚田 葛城山麓地域の棚田 稲淵棚田 芋谷の棚田 中田の棚田 久野原の棚田 杉野原の棚田 上湯・あらぎ島 沼の棚田・段々畑 沼谷「天空の棚田」 色川の棚田群 京ヶ原棚田 横尾棚田 つくみ棚田 室谷の棚田 都川棚田群 中垣内 佐津目子ご美の里 西田ヨズクの里 山王寺本郷 追谷 大原新田 いわけ 上田・平佐棚田 大井谷の棚田 社棚田 美作市上山の千枚田 田土の棚田 上萩棚田 北庄棚田 大井和西の棚田 小山の棚田 比和三河内の棚田 寺領・月の子の棚田 津浪の棚田 井仁の棚田 高野の棚田 吉敷畑地区の棚田 東後畑の棚田		

山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県
長門市 周南市	熊毛郡布施町 阿武郡阿武町 勝浦郡上勝町	観音寺市 小豆郡土庄町 小豆郡小豆島町 木田郡三木町 西条市 大洲市 東温市	北宇和郡松野町 長岡郡本山町 土佐郡土佐町 高岡郡梶原町 高岡郡津野町 八女市	うきは市 糸島市 朝倉郡東峰村 唐津市	多久市 伊万里市	武雄市 小城市 東松浦郡玄海町 西松浦郡有田町 長崎市 平戸市	松浦市 雲仙市 東彼杵郡川棚町 東彼杵郡波佐見町
本郷の棚田 大道理鹿野地の棚田 中須の棚田 石ノ口の棚田 木与の棚田 市宇の棚田 田野々の棚田 八重地の棚田 榎原の棚田 府殿の棚田 五郷の棚田 唐櫃の棚田 中山千枚田 小蓑の棚田 千町の棚田 榎谷棚田 井内の棚田 雨滝音田の棚田 奥内の棚田 土佐本山「天空の棚田」群 高須棚田 神在居の千枚田 貝ノ川棚田 鹿里地区の棚田 広内・上原地区の棚田 つづら棚田 吉井上棚田 竹 蕨野の棚田 駄竹の棚田 大浦の棚田 平野棚田 中田棚田 川内野棚田 川内の棚田 江里山の棚田 浜野浦の棚田 岳の棚田 大中尾棚田 大根坂の棚田 春日の棚田 土谷棚田 ちぢむ岳棚田 日向の棚田 鬼木棚田 川内棚田							

長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
東彼杵郡波佐見町 八代市 水俣市 山鹿市 菊池市	上天草市 阿蘇市 下益城郡美里町	球磨郡球磨村 別府市	日田市 豊後高田市 宇佐市 国東市 玖珠郡玖珠町 日南市 児湯郡西米良村 東臼杵郡椎葉村 西臼杵郡高千穂町	西臼杵郡日之影町 西臼杵郡五ヶ瀬町 指宿市 鹿兒島市 始良郡湧水町
野々川郷百枚田 二見平野地区棚田 久木野校区の棚田群 番所の棚田 滝棚田 佐野棚田 大作山の千枚田 阿蘇水掛の棚田 小崎の棚田群 白石野の棚田 下福良の棚田群 夏水の棚田 扇棚田 菅山の棚田群 峰棚田 白糸台地棚田 菅迫田棚田 くまむら棚田群 日間棚田 堂面棚田 内成棚田 大所棚田 東山の棚田群 月出山棚田 田染荘小崎の棚田 両合棚田 密栗院の棚田 山浦早水 坂元棚田 向江棚田 春之平棚田 椎葉のマチユビテユ 「下松尾仙人の棚田」 尾戸の口棚田 東岸寺扇の峰棚田 徳別当の棚田 川登棚田群(板又の棚田) 深角棚田 石垣の村「戸川」 日蔭棚田 下の原棚田 鳥の巣棚田 八重の棚田 尾下の棚田 新永吉の棚田 幸田の棚田群				

つなぐ棚田遺産 解説

棚田ネットワーク名誉代表 中島峰広

ポスト棚田百選といわれる「つなぐ棚田遺産」が2022年3月25日に農林水産大臣名により正式に認定された。

そこで、最初に「棚田百選」と「つなぐ棚田遺産」との連続性をみてみると、134か所の「棚田百選」のうち「つなぐ棚田遺産」にも選ばれているのが95か所あるのに対し、全体の29%に当たる39か所が百選で十分とする所のほか耕作放棄などによる荒廃が進み申請しなかった所だと思われる。これに対し、「百選」の折には落選し、「遺産」に選ばれた地区が山形県村山市中沢、静岡県松崎町石部、滋賀県高島市鵜川の3地区であり、保全に向けての努力が報いられたものと思われる。これらの地区を除く新しく「つなぐ棚田遺産」に選ばれた173か所も同様に保全活動に励まなければならないであろう。

「百選」と「遺産」の両者を比較してみると、前者が棚田景観を重視したのに対し、後者では棚田保全が重視されたことが窺われる。その一つの証が後者では対象面積が保全を主眼とするため広域に及び、傾斜20分の1以上にある水田面積が1000畝以上ある地区が山形県大蔵村四ヶ村、山形県白鷹町白鷹北部地区の棚田群、山形県遊佐町白井新田の藤井棚田、新潟県上越市清里区櫛池の棚田群、石川県羽咋市神子原地区の棚田群、長野県小谷村の棚田群、高知県本山町土佐・本山・天空の棚田群、熊本県山都町白糸台地棚田、宮崎県高千穂町の川登棚田群など9か所ほどある。これに対し「百選」では面積が1000畝以上の地区は一つもなく、最も面積が大きい地区でも岡山県久米南町北庄の88畝であった。

このように棚田保全を重視したことは、選考の1項目になっている力を入れて取り組みが何かという質問に対し、地域振興47%、国土保全22%、農産物供給14%に対し景観形成は9%にすぎないことから明らかである。

図は「つなぐ棚田遺産」を都道府県地図により、棚田団地ごとに規模別（10畝未満、10〜30畝未満、30畝以上）、法面構造別（土坡●・石積み■・複合▲）に分類して示したものだ。図に示される最北の棚田遺産は北海道上川郡東川町の棚田で大雪山系の旭岳西麓にあるのに対し、最南端は鹿児島県指宿市尾下の棚田で開聞岳に接するカルデラ湖・池田湖の東岸にある。

分布密度で見ると、新潟県頸城地方、阿蘇外輪山周辺、肥前棚田街道とよばれる地域が三大卓越地。頸城地方は十日町市・上越市・柏崎市にまたがる頸城丘陵が占める地域である。頁岩・砂岩・泥岩などからなる地盤の弱い第三紀丘陵によって占められ、地じりの常習地であることから棚田の造成が容易であったこと、また全国一の多雪地帯であるため融雪水を灌漑水として利用できたことなどの理由によるものと思われる。なかでも十日町市は市町村単位では最も多く星峠など14か所、上越市がおぐるの棚田群など7か所、柏崎市が花坂の棚田など4か所、合計25か所の指定を受け、3市で全国の1割近くを占めている。阿蘇外輪山周辺は、東部の宮崎県側は高千穂町・白之影町・五ヶ瀬町に跨る溶岩台地が占める地域。明治以降に開削された長大な用水路により開田された棚田で高千穂町に川登棚田群など4

か所、日之影町に石垣の村など2か所、五ヶ瀬町に日蔭棚田など3か所ほどある。西部の熊本県側も同様の地形がひろがる山都町に菅迫田など3か所、美里町に夏水の棚田など4か所ほど長大な用水路で灌漑される棚田群が存在する。

佐賀・長崎県にまたがる肥前棚田回廊は、北松浦半島を占める佐賀県玄海町・唐津市・伊万里市、長崎県松浦市などが連なる西海に臨む地域だ。日本一高い石積みみの棚田がある佐賀県唐津市藤野、同じ市内の大浦は本土と福島の間の水道にイロハ島が浮かび、弘法大師があまりの美しさに筆を投げたといわれるほどの絶景。唐津市駄竹、玄海町浜野浦、長崎県松浦市土谷などは西海に沈む夕日が映える棚田として知られている。これらに次ぐ卓越地が山形県全域、新潟県佐渡島、富山・石川県の能登半島、滋賀県琵琶湖西岸、兵庫県但馬地方、岡山県吉備高原などがあげられる。

法面構造をみると、全体では土坡136か所、石積み61か所、複合74か所であり、それぞれの比率は50%、22%、28%である。つまり半分が土坡で残り半分を石積みと複合に分けられている。ここで日本列島を石川県・岐阜県・愛知県を境にして、それ以东を東日本、以西を西日本とすると、東日本は土坡90か所、石積み11か所、複合13か所で土坡が90%近くを占めている。これに対し西日本は土坡46か所、石積み50か所、複合61か所で土坡29%、石積み32%、複合39%で三者が拮抗している。

筆者が1995年に農水省の1988年の資料を用い全国棚田分布図を作成した折には西日本における石積みみの比率がこ

■ つなぐ棚田遺産 分布図



れらの数字よりかなり高く、東日本の土坡、西日本の石積みという特徴をもう少しシャープに示すことができた。その変化は石積みみの棚田が崩壊した場合、あるいは畝町直しや圃場整備で改変が行われた場合など石工の不足や費用の問題などで石積みから土坡の棚田に変わったところが多かったことによるものではないかと考えられる。複合の比率が高いのも、このような改変に際し石積みの一部が残されたことを示しているものと思われる。

棚田・里山
からの
たより



棚田と板倉 〳 この風景を次の世代に 〵

岐阜県飛騨市宮川町種蔵 たねくら

棚田と板倉の里 「種蔵」について

日本の農村の原風景ともいえる棚田・板倉の文化・生活・歴史が残る種蔵集落は、岐阜県の最北端にある飛騨市のほぼ中央に位置しています。

集落の名称「種蔵」の由来は、集落が段丘の上に位置しているがために、天災に強く、集落に被害が及んだ時に蓄えられた種を分けてきたことによる、と伝えられています。

種蔵の風景は、現在も住民の手による農作業が行われていることで里山の姿を残しています。

種蔵の棚田

「雨上がりの石積みが太陽に照らされ、焼けた石に夕日があたり、湯気が立ち込める香りが感じられる」とのことから環境省の『全国かおり風景100選』に認定された棚田の石積みは、昔、秋のうちに奥山に拾

い集めておいて冬の間にそりで運び、石積み技術を持つ「石工」と呼ばれる職人の手によって積み重ねたといわれています。

集落の暮らしと板倉

現代では食糧があり余る時代となつて、倉の用途が少なくなつていますが、かつては、「住む家を壊すようなことがあつても倉だけは守れ、倉は食物や種物を保存しておいて家族の命を守るかけがえのない宝物だから」との言葉が残つており、この言葉がしみ込んでいて、現在は8戸の住宅しかありませんが、20戸の板倉が残されています。

景観を後世に残すために

このように種蔵集落の農耕文化と生活文化の結晶として残る貴重な風景を守ろうと、地域の住民が周辺の草刈りなどの維持作業を行ってきましたが、若者の転出と少子高齢化により住民のみでの保全が困



1: 種蔵集落の全景 / 2: 草刈り / 3: 修復した石積み

難となり、平成18年に「景観保全の力になりたい」と地元有志9人による「種蔵を守り育む会」が立ち上がりました。同会が中心となって地域外からのボランティアとともに棚田や板倉の周辺の草刈り作業のほか、獣害柵の設置や撤去、石積み崩落の原因となる雪庇落とし作業を実施され、地域住民の「はりあい」に繋がりました。

関係人口による支援

種蔵の景観に癒しを求めて市内外から訪れる方は年々増加し、こうした人たちにも景観を守ることの重要性和苦勞を理解いただき、景観保全活動に協力いただくことを目的に、市では仮想の村『飛驒市ふるさと種蔵村』制度を平成30年6月に立ち上げました。現在、258名の登録があり、草刈り作業など年間を通じて景観保全作業に多くの方が参加し、種蔵を守り育む会のメンバーと共に作業に汗を流しています。

この他にも空積みの工法を習得

し後世に引き継ぐことと石積みの修復を目的とした「空積みWS（ワークシヨップ）」を開催したり、耕作されなくなったミョウガ畑をオーナーの手で復活させる「myみょうが畑制度」を実施するなど、関係人口の支援により景観を保全する動きが広がっています。

今後への期待

地域住民、ボランティア団体、関係人口により景観が保全されるなか、種蔵の棚田は、令和2年に棚田振興法による指定棚田地域に指定され、機能保全や維持増進のための支援が受けられるようになっています。少子高齢化が進む種蔵集落において、集落住民が望むことと、関係人口が種蔵の為にやりたいと想うことをマッチングさせ、お互いの想いが実現し、このことが地域住民の更なる「はりあい」と集落維持に繋がるよう努力したいと考えています。

(岐阜県飛驒市宮川振興事務所 所長 平田直久)

■ 棚田へのアクセス

【公共交通】 JR高山本線坂上駅よりタクシー利用で約10分

【自動車】 飛驒清見ICより県道90号・国道41号・471号・360号線経由で北上する。ICより約35km

■ お問い合わせ

飛驒市宮川振興事務所地域振興課
Tel. 0577-63-2311



左上：みょうがプロジェクト（収穫）／左中：みょうがプロジェクト（草取り）／左下：種蔵村開村／右：田植え風景



逆光に輝く山古志の棚田

「古志の里」

旧古志郡山古志村（現新潟県長岡市）との出会いは、写真を撮り始めたばかりの1987年春だったと思います。田植えのシーンでも撮ろうかと、自宅（長岡市）から小千谷、川口、山古志に行ったらときは夕方でした。そこには逆光に輝く棚田に田植えをしている家族の姿がありました。感動の中で無我夢中でシャッターを押しました。それ以来、山古志村に心惹かれ、山古志村を中心に旧川口町、小千谷市、長岡市、旧堀之内町を「古志の里」と名付け35年ほど撮り続けています。

古志の里は養鯉が盛んで、棚田とほぼ同じ数の棚池（養鯉池）が点在しています。また、牛の角突きは国の重要無形文化財に指定され有名です。最後まで勝敗をつけさせない文化は、この地域の人々の人柄に通ずるものがあると思います。

1年間どうぞよろしく願います。

フォトエッセイ
日本の
原風景

「古志の里」

写真・文
中條均紀



牛の角突き(引き分けに持ち込もうと勢子も必死)

中條 均紀 なかじょう まさのり



1952年新潟県三条市に生まれる。1986年から写真撮影活動開始。1990年より東京富士フォトサロン等で個展を開催する。2002年新潟県美術展覧会無鑑査作家となる。2004年川口にアトリエShinlaを建築。2005年第14回林忠彦賞を受賞する。同年徹子の部屋出演。同年中越地震チャリティー写真展を全国50ヵ所以上で開催。出版物は『古志の里』『古志の里II』『山古志村再び』『古志の里春夏秋冬』他。現在、写真教室、コンテスト審査員、講演等の活動を行っている。

生きものの屋の

里山考

文・写真 (株)環境指標生物菅谷和希

初夏の風物詩、ホタル

夜の水辺に何処からともなく浮かび上がるその光は幻想的で、いつの時代も人々を魅了してやみません。

ホタルといえば夜間に強い光を放つ

ゲンジボタルとヘイケボタルが有名ですが、かたや日本に50種以上ものホタル類が生息していることはあまり知られていないかもしれません。ホタル全体のうち、ゲンジやヘイケのように強く発光するのはごく一部の種類に限られます。そのため、大多数の種類は人々の注目を受けることなくひっそりと暮らしているといえるでしょう。関東周辺ですと、前述の2種を含め10種前後のホタルが知られていますが、その多くはゲンジやヘイケと同様に、我々にとって身近な里山に生息しており、棚田を囲む山々の湿潤な林床や林縁部の草地でもみることができま

さて、人々になじみの深いゲンジとヘイケは、古くから各地で放虫が盛んに行なわれてきた歴史があります。しかし今日では研究が進み、本来生息するはずのない地域への導入や、無理な土地改変による生息地の創出は、思いがけず遺伝的攪乱や他生物への悪影響を招く恐れがあることも分かっています。生物多様性の保全や持続可能社会の創出が叫ばれる昨今、生きもの達とどのように寄り添い暮らしてゆけばよいのか、我々はいちど立ち止まって慎重に考える必要があるかもしれません。

里山に暮らすすべての生きもの達のありのままの営みを、我々や後の世代で途絶えさせてしまふことのないようにしたいものです。



田んぼ脇のドクダミの葉上に佇むゲンジボタルの雌

特選

棚田の逸品

長野県千曲市
姨捨棚田

棚田米で仕込んだこだわりの味噌

長野県千曲市にある「姨捨棚田」は傾斜地に広がり、江戸時代中頃から明治時代初期にかけて開拓されたもので、現在約1500枚が現存しています。平成11年に棚田として全国で初めて国の名勝に指定、棚田百選にも認定されました。

また平成22年には県内で初めて「国の重要文化的景観」に認定され、令和2年に「日本遺産」としても認定されました。

地元にあるこのようなすばらしい棚田を多くの方々に知っていただきたいと思い、棚田を守っている方たちの力に少しでもなればと、平成15年に1市2町が合併し千曲市誕生を記念して「姨捨棚田」のこしひかりと千曲市産大豆、沖繩の海水塩を使ったこだわりの味噌「棚田」を寒仕込みで作り、販売を始めました。

おいしい棚田米からできる味噌は香りも良く、甘く深い味わいの味噌で人気商品です。

これからもこの素晴らしい「姨捨棚田」を多くの方が訪れ、棚田を守っている方たちの活力になることを願っておいしい味噌を作り続けていきたいと思っています。

〈味噌蔵たかむら 高村 茂子〉



■寒仕込みそ 棚田 500g 885円
1kg 1,728円

HPでこちらの商品を購入できます
<http://www.misogura.co.jp>





「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください！ご要望、感想やご質問でもOK！（声800字まで、レポート400字まで。写真も添えて）
 〒160-0003 東京都新宿区西新宿7-1-116
 トーシンハイム七〇四号「棚田に吹く風 読者のひろば」宛
 メールでも受け付けています ↓ hiroba@tanada.or.jp

阿蘇の棚田



棚田学会副会長・研究委員長 上野 裕治

熊本県阿蘇地域は草原景観で有名な「阿蘇くじゅう国立公園」に含まれますが、じつは棚田も多いのです。ここでは今年「つなぐ棚田遺産」に選定された阿蘇の棚田のうち二つを紹介します。

・扇田(阿蘇郡産山村)

棚田百選にも選定されていた棚田です。十数枚の棚田で約1haと小規模な棚田ですが、すぐ横に阿蘇のあか牛が草を食む放牧地の草原が接しています。その草原と落葉樹で構成された里山に挟まれて扇状に連なる棚田は、遠景の阿蘇の山並みと合わせて独特の景観を構成しています。特に草原と棚田が接する景観は、ほかでは見られないものでしょう。また、すぐ上流にある名水で知られる山吹水源を棚田の水源とし、とても美味しい棚田米が収穫されています。

・水掛の棚田(阿蘇市山田)

阿蘇谷(阿蘇外輪山内の北側)唯一の棚田だと思われま。阿蘇外輪山の北側斜面にあり、棚田の上部からは棚田と阿蘇五岳をあわせて望むことができます。長い間耕作放棄地であった棚田を、熊本県内の水源涵養を目的とした公益財団法人「水とみどりの愛護基金」が中心



上:扇田 下:水掛の棚田

となって2011年、25年ぶりに農機具メーカーの協力や地元企業、大学等のボランティア参加により復活させました。現在では約3ha、30数枚の棚田を減農薬、有機栽培、天日干しを基本として栽培しており、これからも企業によるボランティア参加は増えていきそうです。すぐ上流には優良な水源があり、冬水田んぼの実践とともに、地域の水涵養にも貢献しています。

阿蘇地域ではこの他に阿蘇郡高森町の宮崎県境に近い位置にある菅山の棚田群が「つなぐ棚田遺産」に選定されましたが、これはまたの機会にということ。



平成棚田 静岡県富士宮市

ふじのくに美しく品格のある邑 白糸の里 村松正章

平成棚田は「富士山に一番近い棚田遺産」です。2月23日(富士山の日)に開催される「富士山白糸平成棚田祭り」は、冬の寒さの中大きな雪の富士山をバックに竹灯籠の灯りが揺れ、それは感動的な美しい風景です。隣接する「白糸自然公園」は四季折々の花々や2月～3月頃の三椏の花が見事です。自動車ですら5分ほどの所には、源頼朝に縁の深い「富士の巻狩り」や「曾我兄弟の仇討」で知られる「白糸の滝」があります。富士山から湧き出る滝は感動すること間違いありません。ぜひ地域住民が守る「白糸の里」へお越しください。



棚田ネットワーク 総会レポート

水野 晴美

コロナ禍の下、今年も総会&ミニ講演会&会員交流会はリモート開催。通常開催だと東京までの時間や費用を考えると簡単に参加は難しいですが、リモートですから全国津々浦々、会員ならば誰でも参加可能。お名前はお聞きしていたけれどこんなお顔をされていらつしやるのね！なんて、今までは違う親近感が湧きました。

また、会員さんの中では、今までネットとは無縁で通してきたがPCを購入し頑張って参加された方もいらしたとの事。うれしい限りです。なお報告としては、今総会を期に新代表理事に杉山行男さん、新副代表理事に相田明さんが就任しました。退任される中島峰広さんは、今後とも名誉代表として会を支える中心メンバーであることに変わりはなく新体制での活躍が期待されています。

ミニ講演会は、中島峰広先生の「つなぐ棚田遺産」に関してのお話。「棚田百選」と「つなぐ棚田遺産」の違いと棚田百選の中の39か所が「つなぐ遺産」への申請をしなかった理由等。棚田の守り人である皆様のご活躍を先生はどんなに期待されている事でしょうと思いつつながら拝聴するとともに、貴重なお話を沢山の方が聞くことが出来るのはリモートならではだと思います。

○会員交流会

昼間ですからさすがにお酒を飲みながら参加される方はおられなかったように見受けられましたが、普段ではお会いできない全国の方々の取り組みを、和気あいあいとお伺い出来たのがとてもよかったですと思います。



編集部イチオシ! BOOK & MOVIE



山崎晴雄・久保純子 著
1,000円(+税)
講談社・ブルーバックス
2017年1月

日本列島100万年史
大地に刻まれた壮大な物語

NHKの「プラタモリ」のおかげで地形・地質を見てその成り立ちに興味を持つ人が増えました。その番組に解説者として出演経験のある著者（山崎氏）が最初に今の日本列島の形は第四紀後半に形作られたと、わかりやすく説明されています。次に著者二人で日本各地の様々な地形がどのように作られてきたかを地域別に説明されていて、身近な自然としての「地形」についてのガイドブックであり、自然災害・防災対策に関心を高められる本にもなっています。



「旅と鉄道」編集部 編
1,800円(+税)
天夢人 山と溪谷社
2021年2月

ポツンと秘境駅
何もなから行ってみたい!

鉄道以外に到達する手段が無い「秘境駅」。秘境駅という言葉の生みの親・牛山隆信氏による「秘境駅を取り巻く世界感とは?」(傍点編集部)をはじめ、鉄道旅の達人たちによるその魅力、訪問のアドバイス、行って何をやる・どう過ごす、秘境駅のコワイ話、47都道府県のイチオシ秘境駅等々話題満載の入門書。「Googleストリートビュー」による「おうちで秘境駅」のガイドもあり。巻末の「秘境駅地図帳」で棚田巡りのついでに立ち寄るのも良し。

浴衣着てスニーカーなり女子高生
 ■ヒント
 「浴衣」で「着る」は要りませぬ
 ※解答は下記【次回募集は8月末日】

本人しろうと五七五

戦争をやめよと願い夏来たる
 畝曲がり拙き畑やホトトギス
 豊作を祈りて芋の苗植える
 浴衣着て友と声上げ反戦歌

豊島区 小川順子

深呼吸マスク片手に森林浴
 梅雨空と共に晴れよと戦火見る
 心地よし稲面を揺らす夏あらし
 我先に芝をおしのけ庭の草

所沢市 上久保郁夫

ホトトギスはや鳴きわたる山野かな
 春風やつなぐ棚田に 青森も
 コロナ禍で棚田の風もよりうまい
 風薫る 笑顔を結ぶオンライン

取手市 杉山行男

梅一輪朝霜ついて咲きにけり
 大雪のテレビ見るたび 郷思う
 犬ふぐり凍てつく畔を 彩りぬ
 オミクロン 生徒も疎ら息白し

取手市 杉山行男

麦秋か地響たえぬウクライナ
 食料をやっぱり武器にプーチン流
 死神の舍弟に下る BRICS
 マウリポリ 虫けら逃さずシベリヤ
 ピカドンもシベリヤ送りも人のわざ
 米パンもフオーうどんも 良しとせん
 長生きしプーチン地獄とオミクロン
 緑萌え野の花ゆれてマスクとり

調布市 高木宏明



(写)早や麦秋隣の水田 苗チチチ
 紫陽花の 日毎変わりて 微笑まむ
 薄茶から 一気に目覚め 山若葉
 古の 借景の田や 早苗あり
 モンステラ 次々新葉 励めとや

浜松市 一露

代表就任にあたって

代表理事 杉山行男



5月29日にWebで行われた総会において役員改選が行われ、その後の理事会において、中島先生から代表退任の申し出があり、了承され、互選により私が代表をすることになりました。よろしくお願ひします。

私は1950年5月生まれで、出身は青森県八戸市です。仕事は阿蘇・久住や阿武隈・八溝山系の草地開発や圃場整備などの、いわゆる土地改良の事業に携わってきました。

中島先生との出会いは、岐阜県の坂折棚田の整備を担当していたころ、地元で整備が保全かで議論していた時、恵那市役所に整備保全検討委員会を設け、中島先生に委員長を引き受けていただいたのがきっかけでした。通常、役所が設置する委員会は、根回しをし形式的に結論を出すのが多いなかで、先生は、農家の代表に怒鳴られながらも調整をされ、ゾーニングによる整備・保全を図る構想案をまとめていただきました。地形に合わせた圃場整備や、農道・水路だけを整備する事業、何もせずそのまま保全するエリア、東屋やトイレなどの整備など現在の坂折棚田の姿の原型といえるものです。工事の完成に合わせて、第9回棚田サミットを恵那市で開催し、皆様に見ていただきました。それ以来、先生にはいろいろとお世話になり、棚田の持つ様々な面を教えていただきました。

先生は米寿を迎えとはいえまだまだお元気で、代表退任後も名誉代表に就任され、引き続き棚田博士として全国の棚田の研究や私たちの指導をしてくださることとなりました。

私は、全国の棚田もサミットで訪れる程度ですが、農家の皆さんと関わる仕事をしてきましたので、高齢化や後継者の問題等棚田地域が抱える課題に対し「棚田の応援団」として棚田ネットワークの活動を支えていきたいと思ひます。以上、自己紹介を兼ねて就任のあいさつとします。

千葉県鴨川市

川代棚田でお米づくり

雨の中「田植え体験」を実施



千葉県鴨川市川代柿ノ木代棚田での体験プログラムは、昨年と同じ田んぼ2枚を借りてオーナー行事に合わせ現地集合方式で実施します。田植え体験は5月1日に中島代表を含め6名で実施しました。農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に選定されて初めての田植えで、あいにくの雨模様にもかかわらず、これまでで最も多い240名ものオーナーさんが参加され、初めての田植えの参加者も多く、「苗は2～3本を鉛筆を持つように植えて」との農家の声があちこちから聞こえ、活気にあふれる田んぼとなりました。

田植え後の食事は、雨のため集会所の中で地元手作りのタケノコ弁当をいただきました。新型コロナウイルス感染状況の中にあっても、対策を講じて実施すればできるとの地元の皆さんの思いを感じました。今年も大きな災害もなく無事稲刈りを迎えられるよう祈りつつそれぞれ帰路につきました。

草刈り、脱穀や収穫祭等についても希望者があれば参加していきますので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。
(杉山行男・小川順子)

岐阜県恵那市

棚田ビオトープ プロジェクト

「かえるの卵を探そう！」 「棚田ビオトープ田植え」開催



春の水溜りに卵を産むヤマアカガエルの卵塊を探そう「第15回かえるの卵を探そう！」を七十二候の「雀始巢」^{すずめはじめてすくう}の頃、3月21日春分の日に開催しました。参加者数5名（大人2名、子供3名）でした。天候に恵まれ、棚田を歩くにはちょうど良い気候で、この日、89個の卵塊を見つけました（その後、2回の追調査の結果、今季は合計143個となりました）。七十二候の「蚕起食桑」^{かいこおきてくわをはむ}頃、5月23日に田植えを行いました。参加は岐阜県立国際園芸アカデミーの学生23名。棚田ビオトープの水の中にはヤマアカガエルのオタマジャクシが多くいます。田植え中、オタマジャクシが脚に触れるので、皮膚を食べる小さい魚「ドクターフィッシュ」のようだ、と喜んでおりました。

これまで棚田ビオトープの田起こし、管理をして頂いていた方が、今年で棚田作業をリタイアされたことから、棚田ビオトープの水張りを心配しておりましたが、結果、恵那市坂折棚田保存会の協力を得ることができました。最後になりましたが、これまでの管理、本当に有難うございました。（相田 明）

静岡県松崎町

石部棚田で昔ながらの米づくり

田んぼ準備～田植え



4/16～17日に代掻きを行いました。1日目はボランティア8名で順調に4枚を掻いたのですが、耕耘機のギヤ部をまたまた破損してしまい、翌日早朝6時からスタッフ2名で、鍬で土を崩して足で踏み込むという昔ながらの代掻きを行い4時間半をかけて、何とか残りの4枚の田んぼに水を張りしました。4月30日のGW突入の週末、畦塗りでは、ボランティア13名も集まってきて、無事1日で作業完了。そして5月21～22日で田植えを行いました。1日目は道中ずっと雨模様でしたが、参加者が集まり始めると、雨がパタッとやんで、暑くも寒くもないちょうど良い陽気に。参加者15名でファミリーでの参加もあり、子供たちの笑い声も響いて賑やかな田植えとなりました。2日目は、一転して快晴で親子お二人の参加があり、大小2枚の田んぼを植えました。次回は、7月2～3日に草刈り・草取りを予定しています。
(高桑 智雄)



さびわ湖を育む清流の輪

第27回 全国棚田サミット

千枚田 2022 in 高島市

2022 10/1(土)・10/2(日)

棚田をつなぐ人のかけ橋



会場
高島市民会館
ガリバーホール
藤樹の里文化芸術会館
今津東コミュニティセンター
高島市内各地

国土の保全や良好な景観の形成、伝統文化の継承などに大きな役割を果たしてきた「棚田」。昨今の担い手不足や耕作放棄などの課題解決に向けて議論する全国棚田サミットが今年、滋賀県高島市で開催されます。



問い合わせ先

主催：全国棚田(千枚田)連絡協議会 主管：第27回全国棚田(千枚田)サミット実行委員会

第27回全国棚田(千枚田)サミット実行委員会 事務局 TEL:0740-25-8529 FAX:0740-25-8519
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地(高島市農村整備課内) E-mail:nouson@city.takashima.lg.jp



わたしたちと「棚田の応援団」やりませんか!

棚田ネットワークは「棚田の保全に協力したい!」という会員によって自主的に運営されているNPOです。消えゆく美しい「棚田」をどのように保全していくことができるのでしょうか?一緒に考えませんか?ぜひ、私たちと棚田の応援団になりましょう!

会員になり方

私たちは、会報誌「棚田に吹く風(年4回)」やホームページで豊富な棚田情報を発信しています。会員になりこれらの活動に参加してみませんか?

年会費

○個人会員
維持会員 1口1万円(1口以上)
一般会員 4,000円
応援会員 3,000円
学生会員 2,000円

法人会員を募集しています!

私たちは、棚田を守るため、農山村の人々と都市住民双方の協力のもとに様々なプログラムを企画・運営しています。これらの社会貢献活動に賛同し、ご支援いただける企業・団体・事業主様を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

年会費

○法人会員(賛助会員)
1口3万円(1口以上)

「つなぐ棚田百選」が発表された時、その一覧に私たちの現地活動地でもある「石部棚田」の名があったのを見てとても感慨深かった。石部棚田は1999年の「日本の棚田百選」に立候補しながら、耕作率が50%に満たなかったことを理由に(実際には10%にも満たなかった)選考から外れた数少ない棚田だったのだ。その悔しさから地域住民が奮起して復旧活動に着手し、初代保存会会長の周蔵さんと二代目のやっさんを中心に、今や全国でも有数の活動的な棚田地域になった。そして23年を経て、ついに百選に選定されたのである。周蔵さんとやっさんもきつと天国で祝杯を上げているだろう。

編集部から

ホームページの姿を見て!

棚田ネットのWebサイトも見てみてください!



<https://www.tanada.or.jp>



2022年 夏号 Vol.124

発行 認定NPO法人 棚田ネットワーク

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-18-16 トーシンハイム704号
Tel/Fax 03-5386-4001
e-mail: info@tanada.or.jp URL: www.tanada.or.jp
郵便振替口座: 00100-7-151565